

# 令和4年度 事業報告書

学校法人 武蔵野大学

## 1. 法人の概要

### (1) 基本情報

法人の名称：学校法人武蔵野大学  
主たる事務所の住所、電話番号、ホームページアドレス  
東京都江東区有明三丁目3番3号  
03-5530-7333（代表）  
<https://www.musashino-u.ac.jp>

### (2) 建学の精神

この法人は、仏教精神並びに教育基本法及び学校教育法に従い、有為の女子を育成すると共に男女共同参画社会の実現に資する教育及び幼児教育を行うことを目的とする。

### (3) 学校法人の沿革

大正13 (1924)年 東京都中央区築地に「武蔵野女子学院」創設。  
昭和02 (1927)年 武蔵野女子学院高等女学校設立。  
昭和04 (1929)年 保谷村（現：西東京市、現在の武蔵野キャンパス）に移転。  
昭和22 (1947)年 新学制により武蔵野女子学院高等女学校は  
武蔵野女子学院中学校、武蔵野女子学院高等学校となる。  
昭和25 (1950)年 武蔵野女子短期大学設立。  
昭和29 (1954)年 武蔵野女子短期大学を武蔵野女子学院短期大学に名称変更。  
昭和40 (1965)年 武蔵野女子大学設立。  
武蔵野女子学院短期大学を武蔵野女子大学短期大学部に名称変更。  
昭和42 (1967)年 武蔵野女子学院幼稚園設立。  
昭和61 (1986)年 武蔵野女子学院幼稚園を武蔵野女子大学附属幼稚園に名称変更。  
平成11 (1999)年 武蔵野女子大学大学院設立。  
平成15 (2003)年 武蔵野女子大学を武蔵野大学に、武蔵野女子大学附属幼稚園を武蔵野大学  
附属幼稚園に名称変更。  
平成16 (2004)年 武蔵野大学男女共学化。  
平成18 (2006)年 武蔵野女子大学短期大学部を廃止。  
平成24 (2012)年 学校法人武蔵野女子学院を学校法人武蔵野大学に名称変更。  
江東区有明に有明キャンパスを開設。  
平成28 (2016)年 学校法人武蔵野大学と学校法人千代田女学園が法人合併。  
平成29 (2017)年 武蔵野大学附属慈光保育園設立。  
平成30 (2018)年 千代田女学園高等学校を男女共学化し、武蔵野大学附属千代田高等学院に  
名称変更。  
令和元 (2019)年 武蔵野女子学院中学校・高等学校を武蔵野大学中学校・高等学校に名称変更し、  
武蔵野大学中学校を男女共学化。  
令和2 (2020)年 武蔵野大学高等学校を男女共学化。武蔵野大学附属有明こども園設立。  
令和4 (2022)年 千代田女学園中学校を男女共学化し、千代田国際中学校に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等

(令和4年5月1日現在)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等	
武蔵野大学	大学院		
	文学研究科	日本文学専攻（修士課程/博士後期課程）	
	言語文化研究科	言語文化専攻（修士課程/博士後期課程）	
	法学研究科	ビジネス法務専攻（修士課程/博士後期課程）	
	政治経済学研究科	政治経済学専攻（修士課程/博士後期課程）	
	経営学研究科	会計学専攻（修士課程）	
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻（修士課程/博士後期課程☆）	
	人間社会研究科	人間学専攻（修士課程/博士後期課程） 実践福祉学専攻（修士課程）	
	仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程/博士後期課程）	
	工学研究科	数理工学専攻（修士課程/博士後期課程） 建築デザイン専攻（修士課程）	
	環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程） 環境システム専攻（博士後期課程）	
	教育学研究科	教育学専攻（修士課程）	
	薬科学研究科	薬科学専攻（修士課程/博士後期課程）	
	看護学研究科	看護学専攻（修士課程/博士後期課程）	
	通信教育部 人間社会研究科	人間学専攻（修士課程） 実践福祉学専攻（修士課程）	
	通信教育部 仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程）	
	通信教育部 環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程）	
	大学		
		文学部	日本文学文化学科
		グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科
●	グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 [平成28年度募集停止]	
	法学部	法律学科 政治学科	
●	経済学部	経済学科 経営学科 [平成31年度募集停止]	
●		会計ガバナンス学科 [平成31年度募集停止]	
	経営学部	経営学科 会計ガバナンス学科	
	アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	
	データサイエンス学部	データサイエンス学科	
●	政治経済学部	政治経済学科 [平成26年度募集停止]	
	人間科学部	人間科学科 社会福祉学科	
	工学部	環境システム学科 数理工学科 建築デザイン学科	
	教育学部	教育学科 幼児教育学科	
	薬学部	薬学科	
	看護学部	看護学科	
	通信教育部 人間科学部	人間科学科	
	通信教育部 教育学部	教育学科	
	専攻科（言語聴覚士養成課程）		
	別科（日本語教育課程、介護福祉士養成課程）		
	武蔵野大学高等学校 全日課程普通科		
	武蔵野大学中学校		
	武蔵野大学附属千代田高等学院 全日課程普通科		
◇	千代田国際中学校		
	武蔵野大学附属幼稚園		
	武蔵野大学附属慈光保育園（企業内保育所）		
	武蔵野大学附属有明こども園		

●募集停止 ☆令和4年度開設 ◇令和4年度より名称変更及び募集再開

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和4年5月1日現在/単位:人)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数		
大学院	文学研究科	日本文学専攻(修士課程)	7	2	14	10		
	言語文化研究科	言語文化専攻(修士課程)	55	31	110	94		
	法学研究科	ビジネス法務専攻(修士課程)	10	2	20	3		
	政治経済学研究科	政治経済学専攻(修士課程)	10	1	20	3		
	経営学研究科	会計学専攻(修士課程)	10	10	20	22		
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻(修士課程)	10	6	20	10		
	人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	30	26	60	54		
		実践福祉学専攻(修士課程)	7	3	14	3		
	仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	5	0	10	3		
	工学研究科	数理工学専攻(修士課程)	15	3	30	7		
		建築デザイン専攻(修士課程)	15	2	30	9		
	環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	2	20	8		
	教育学研究科	教育学専攻(修士課程)	10	5	20	15		
	薬科学研究科	薬科学専攻(修士課程)	5	0	10	0		
	看護学研究科	看護学専攻(修士課程)	10	2	20	15		
	修士課程 計			209	95	418	256	
	大学院	文学研究科	日本文学専攻(博士後期課程)	2	0	6	1	
		言語文化研究科	言語文化専攻(博士後期課程)	2	0	6	5	
		法学研究科	ビジネス法務専攻(博士後期課程)	3	1	6	3	
		政治経済学研究科	政治経済学専攻(博士後期課程)	3	0	9	0	
		データサイエンス研究科	データサイエンス専攻(博士後期課程)	3	3	3	3	
		人間社会研究科	人間学専攻(博士後期課程)	3	0	9	7	
		仏教学研究科	仏教学専攻(博士後期課程)	2	1	6	4	
		工学研究科	数理工学専攻(博士後期課程)	2	0	4	0	
		環境学研究科	環境システム専攻(博士後期課程)	2	0	6	1	
		薬科学研究科	薬科学専攻(博士後期課程)	5	1	15	9	
		看護学研究科	看護学専攻(博士後期課程)	3	0	9	13	
		博士後期課程 計			30	6	79	46
		大学院 計			239	101	497	302
		大学	文学部	日本文学文化学科	200	206	855	829
	グローバル学部		グローバルコミュニケーション学科	165	129	666	534	
日本語コミュニケーション学科			80	67	330	306		
グローバルビジネス学科			55	51	234	216		
グローバル・コミュニケーション学部 ※1	グローバル・コミュニケーション学科 ※1		-	-	-	-		
法学部	法律学科		190	196	769	715		
	政治学科		100	93	409	407		
経済学部	経済学科		175	190	709	732		
	経営学科 ※2		-	-	-	17		
	会計ガバナンス学科 ※2		-	-	-	9		
経営学部	経営学科		220	235	889	855		
	会計ガバナンス学科		90	87	360	348		
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		60	56	120	125		
データサイエンス学部	データサイエンス学科		90	92	320	317		
政治経済学部 ※3	政治経済学科 ※3		-	-	-	1		
人間科学部	人間科学科		215	238	866	880		
	社会福祉学科		145	130	616	541		
	環境システム学科		70	69	280	280		
工学部	数理工学科		60	67	240	243		
	建築デザイン学科		70	75	280	292		
	教育学科	120	110	480	472			
教育学部	幼児教育学科	100	102	400	390			
	薬学科	145	151	915	840			
看護学部	看護学科	125	129	540	523			
計			2,475	2,473	10,278	9,872		
通信教育部	大学院 人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	60	64	120	213		
		実践福祉学専攻(修士課程)	10	9	20	21		
	大学院 仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	20	11	40	60		
	大学院 環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	13	20	40		
	大学 人間科学部	人間科学科 ※4	250	217	2,400	3,085		
	大学 教育学部	教育学科 ※5	15	11	174	188		
計			365	325	2,774	3,607		
専攻科(言語聴覚士養成課程)			30	11	60	26		
別科(日本語教育課程)			90	31	90	69		
別科(介護福祉士養成課程)			40	2	80	11		
武蔵野大学高等学校			400	336	1,200	1,004		
武蔵野大学中学校			250	186	750	530		
武蔵野大学附属千代田高等学院			200	66	600	502		
千代田国際中学校 ※6			100	74	100	74		
武蔵野大学附属幼稚園			96	80	288	231		
武蔵野大学附属慈光保育園			12	6	12	11		
武蔵野大学附属有明こども園			80	57	280	251		

※1 平成28年度グローバル学部へ改組

※2 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科へ改組

※3 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科へ改組

※4 3年次編入学定員700人

※5 3年次編入学定員85人

※6 令和4年度より名称変更及び募集再開

(6) 収容定員充足率

(令和4年5月1日現在/単位:人・%)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	収容定員	学生数	充足率												
武蔵野大学大学院	381	267	70.07	427	276	64.63	464	304	65.51	479	304	63.46	497	302	60.76
武蔵野大学	8,829	8,743	99.02	9,348	8,965	95.90	9,832	9,200	93.57	10,260	9,698	94.52	10,278	9,872	96.04
武蔵野大学大学院通信教育部	190	280	147.36	200	293	146.50	200	332	166.00	200	334	167.00	200	334	167.00
武蔵野大学通信教育部	2,804	3,314	118.18	2,721	3,140	115.39	2,638	2,947	111.71	2,606	3,076	118.03	2,574	3,273	127.15
専攻科(言語聴覚士養成課程)	60	33	55.00	60	26	43.33	60	24	40.00	60	29	48.33	60	26	43.33
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)	90	17	18.88	90	57	63.33	130	88	67.69	170	77	45.29	170	80	47.05
武蔵野大学高等学校	1,200	560	46.66	1,200	593	49.41	1,200	876	73.00	1,200	909	75.75	1,200	1,004	83.66
武蔵野大学中学校	750	181	24.13	750	253	33.73	750	375	50.00	750	480	64.00	750	530	70.66
武蔵野大学附属千代田高等学院	600	270	45.00	600	322	53.66	600	529	88.16	600	576	96.00	600	502	83.66
千代田国際中学校 ※1	500	35	7.00	400	16	4.00							100	74	74.00
武蔵野大学附属幼稚園	288	304	105.55	288	298	103.47	288	273	94.79	288	238	82.63	288	231	80.20
武蔵野大学附属慈光保育園	12	11	91.66	12	12	100.00	12	12	100.00	12	12	100.00	12	11	91.66
武蔵野大学附属有明こども園							280	178	63.57	280	246	87.85	280	251	89.64
総計	15,704	14,015	89.24	16,096	14,251	88.53	16,454	15,138	92.00	16,905	15,979	94.52	17,009	16,490	96.94

※1 令和4年度より名称変更及び募集再開。令和元年度までは千代田女学園中学校。

(7) 役員の概要

定員数(理事):12名以上15名以内 現員数:14名

定員数(監事):2名 現員数:2名

(令和4年5月1日現在)

種別	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	業務執行・非業務執行	現職等
理事	長野 了法	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学理事長
	山崎 秀保	令和3年5月24日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学経営企画担当常務理事
	西本 照真	平成28年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学長
	落合 恒	令和3年1月29日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学大学経営担当常務理事
	中村 好孝	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学中高等経営担当常務理事
	横山 尚佳	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学事務局長
	荒川 智行	平成25年2月14日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派信行寺住職
	安永 雄彦	平成29年12月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
	池田 行信	令和2年11月19日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
	小林 泰善	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
	平田 史郎	平成24年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人平田学園理事長
	白川 了信	平成24年6月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
石上 智康	平成4年6月16日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派総長	
大河原 遼平	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	弁護士	
監事	松下 武義	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	—
	斯波 照雄	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	中央大学名誉教授

責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

【契約名称】  
会社役員賠償責任保険  
【被保険者】  
役員(理事15名、監事2名 寄附行為上の定数)  
【契約内容】  
被保険者が役員としての業務につき行った行為(不作為を含む)に起因して保険期間中に被保険者に対して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害に対して保険金の支払いが行われる。  
【支払対象】  
法律上の損害賠償責任に基づく賠償金、損害賠償請求に関する争訟によって支出した訴訟費用、弁護士報酬等の費用。  
【限度額】  
5億円  
【契約期間】  
令和4年5月1日午後4時 ~ 令和5年5月1日午後4時  
【契約によって職務執行の適正性が損なわれないようするための措置】  
当該保険契約の被保険者は本学の理事及び監事であり、すべての被保険者について、その保険料を全額本法人が負担している。

## (8) 評議員の概要

定員数：28名以上34名以内

現員数：31名

(令和4年5月1日現在)

氏名	就任年月日	現職等
日野田 直彦	平成30年4月1日	中中学園長、千代田国際中学校校長
水谷 直子	令和2年6月1日	武蔵野大学附属有明こども園園長
寺下 公章	令和3年8月1日	武蔵野大学附属千代田高等学院校長
石上 和敬	令和2年7月1日	武蔵野大学附属幼稚園園長
北條 英勝	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
上岡 学	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
小西 聖子	令和3年4月1日	武蔵野大学副学長
村松 陸雄	令和2年6月1日	武蔵野大学教務部長
伊藤 泰彦	令和2年6月1日	武蔵野大学学生部長
齋藤 祐介	令和3年4月1日	武蔵野大学高等学校教頭
岡田 孝子	平成28年6月14日	武蔵野大学附属千代田高等学院教頭
本橋 一聰	令和3年1月29日	学校法人武蔵野大学事務局次長
柳川 信澄	平成9年4月1日	—
藤谷 光信	平成19年4月1日	岩国南幼稚園学園長
安永 雄彦	平成29年11月20日	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
長野 了法	令和2年6月1日	学校法人武蔵野大学理事長
池田 行信	令和2年7月1日	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
石上 智康	令和4年4月1日	浄土真宗本願寺派総長
平山 眞見	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会会長
牛田 きぬ	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会副会長
阿部 美枝子	平成25年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会会長
斧田 留美	令和4年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会副会長
長谷川 智子	令和4年4月1日	千代田同窓会会長
小林 泰善	平成19年6月1日	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
吉國 眞一	平成20年6月1日	株式会社サンテック社外監査役
西原 祐治	平成23年6月1日	宗教法人西方寺（浄土真宗本願寺派）代表役員
白川 了信	平成24年6月1日	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
立石 晴康	平成26年6月1日	社会福祉法人シルバーウィング理事
藤音 浩	平成28年6月1日	株式会社ウィズ・パートナーズ
東森 尚人	令和3年11月26日	浄土真宗本願寺派築地本願寺副宗務長
松下 昌文	令和4年4月1日	浄土真宗本願寺派社会部長（龍谷総合学園事務局長）

## (9) 教職員の概要

●令和4年度教職員数

(令和4年5月1日現在/単位:人)

		法 人	大 学	武蔵野大学 高等学校	武蔵野 大学 中学校	武蔵野 大学附属 千代田 高等学院	千代田 国際 中学校	武蔵野 大学附属 幼稚園	武蔵野 大学附属 有明 こども園	武蔵野 大学附属 慈光 保育園	計	
教 員	専 任	教授	181 (173)								181 (173)	
		准教授	70 (69)								70 (69)	
		講師	67 ※2 (67)								67 (67)	
		助教	36 (35)								36 (35)	
		助手	9 (10)								9 (10)	
		教諭		49 (49)	18 (20)	35 (35)	5	12 (11)	30 (30)		149 (145)	
		常勤講師				1 (12)		5 (6)			6 (18)	
	計		363 (354)	49 (49)	18 (20)	36 (47)	5	17 (17)	30 (30)	518 (517)		
	非 常 勤	講師 (客員を含む)	820 (795)	24 (19)	15 (10)	28 (21)					887 (845)	
		委託・兼務	107 (130)								107 (130)	
		計	927 (925)	24 (19)	15 (10)	28 (21)					994 (975)	
	合 計		1,290 (1,279)	73 (68)	33 (30)	64 (68)	5	17 (17)	30 (30)		1,512 (1,492)	
	職 員	専 任	事務職員	10 ※1 (15)	230 ※3 (203)	10 (9)		4 (4)		2 (2)	4 (3)	1
実習助手				2 (2)								2 (2)
保育士											3 (3)	3 (3)
嘱託				37 ※4 (36)	7 ※5 (7)	1 (1)	3 (3)		1 (1)	1 (2)		50 (50)
計			10 (15)	269 (241)	17 (16)	1 (1)	7 (7)		3 (3)	5 (5)	4 (3)	316 (291)
非 常 勤		嘱託		109 (88)	7 (8)		3 (2)		14 (12)	28 (18)	9 (9)	170 (137)
		計		109 (88)	7 (8)		3 (2)		14 (12)	28 (18)	9 (9)	170 (137)
合 計	10 (15)	378 (329)	24 (24)	1 (1)	10 (9)		17 (15)	33 (23)	13 (12)	486 (428)		
総 計	10 (15)	1,668 (1,608)	97 (92)	34 (31)	74 (77)	5	34 (32)	63 (53)	13 (12)	1,998 (1,920)		

〔注〕 1. ( )内は、令和3年5月1日現在の数字を示す。

2. 大学に通信教育部教職員を含む。

※1. 出向者4名を含む。

※2. 出向受入者4名を含む。

※3. 出向受入者3名を含む。

※4. 出向受入者1名を含む。

※5. 出向受入者1名を含む。

(10) その他

① 大学組織図

(令和4年8月1日現在)

I. 学部・学科等

大学院	文学研究科	日本文学専攻		修士課程 博士後期課程
	言語文化研究科	言語文化専攻	言語文化コース	修士課程
			ビジネス日本語コース	博士後期課程
	法学研究科	ビジネス法務専攻		修士課程 博士後期課程
	政治経済学研究科	政治経済学専攻		修士課程 博士後期課程
	経営学研究科	会計学専攻		修士課程
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻		修士課程 博士後期課程
	人間社会研究科	人間学専攻	人間行動学コース	修士課程 博士後期課程
			臨床心理学コース	
			言語聴覚コース	
		実践福祉学専攻		修士課程
	仏教学研究科	仏教学専攻		修士課程 博士後期課程
	工学研究科	数理工学専攻		修士課程 博士後期課程
		建築デザイン専攻		修士課程
	環境学研究科	環境マネジメント専攻		修士課程
		環境システム専攻		博士後期課程
	教育学研究科	教育学専攻		修士課程
	薬科学研究科	薬科学専攻		修士課程 博士後期課程
	看護学研究科	看護学専攻		修士課程 博士後期課程
	通信教育部	人間社会研究科	人間学専攻	修士課程
実践福祉学専攻			修士課程	
環境学研究科		環境マネジメント専攻	修士課程	
大学	文学部	日本文学文化学科		
	グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科		
		日本語コミュニケーション学科		
	法学部	法律学科		
		政治学科		
	経済学部	経済学科		
		経営学科 ※1	会計ガバナンス学科 ※1	
	経営学部	経営学科		
		会計ガバナンス学科		
	アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		
	データサイエンス学部	データサイエンス学科		
	政治経済学部 ※2	政治経済学科 ※2		
	人間科学部	人間科学科		
		社会福祉学科		
	工学部	環境システム学科		
		数理工学科		
		建築デザイン学科		
	教育学部	教育学科		
		幼児教育学科		
	薬学部	薬学科		
看護学部	看護学科			
通信教育部	人間科学部	人間科学科	心理学専攻	
			仏教学専攻	
	教育学部	教育学科	社会福祉専攻	
専攻科 (言語聴覚士養成課程)				
別科 (日本語教育課程)				
別科 (介護福祉士養成課程)				

※1 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科に改組

※2 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科に改組

II. 研究所・研究施設

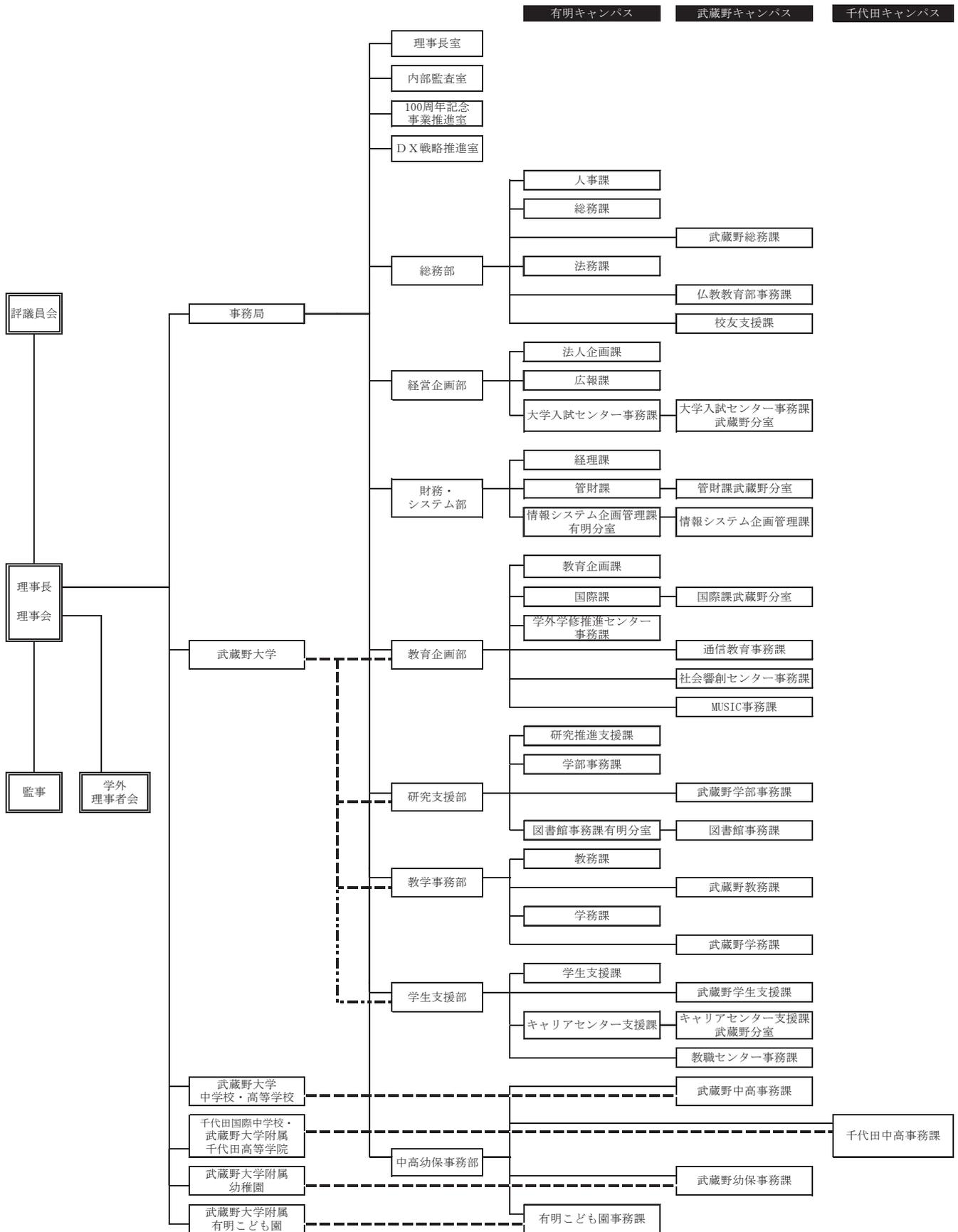
Musashino University Creating Happiness Incubation (武蔵野大学しあわせ研究所)
仏教文化研究所
国際総合研究所
能楽資料センター
教養教育リサーチセンター
武蔵野文学館
日本文学研究所
グローバルスタディーズ研究所
法学研究所
政治経済研究所
経営研究所
アントレプレナーシップ研究所
アジアAI研究所
心理臨床センター
人間科学研究所
認知行動療法研究所
環境研究所
数理工学センター
建築研究所
教育学研究所
薬学研究所
臨床薬学センター
薬学キャリア教育研究センター
看護学研究所

III. センター・付属施設等

図書館
学外学修推進センター
教職センター
学院体育センター
国際センター
ランゲージセンター
ボランティアセンター
産官学連携・研究推進センター
健康管理センター
Musashino University Smart Intelligence Center (MUSIC)
響学開発センター
社会響創センター
キャリアセンター
薬用植物園
武蔵野大学孔子学院

② 事務組織図

(令和4年10月1日現在)



## 2. 事業の概要

### (1) 主な教育・研究の概要

#### ① 武蔵野大学・大学院

##### I. 卒業の認定に関する方針

武蔵野大学は、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献する人材を育成します。

<知識・専門性>学びの基礎力を基盤とした専門能力

- ・ 教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる「教養・基礎学力」
- ・ 自ら積極的に専門分野の知識や技能の体系的な修得を行い他者に説明できる「専門能力」

<関心・態度・人格>他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

- ・ 自らを他者や社会との関わりのなかで捉え、多様な価値観を認めることができる「自己認識力・他者理解力」
- ・ 自ら課題を感じ取り、共有することができる「課題発見力」
- ・ 自ら積極的に社会に働きかけて、最後まで行動していくことができる「主体性・実行力・ストレスコントロール力」
- ・ 自ら一人ひとりの幸せ、世界の幸せのために行動できる「人格形成・使命感」

<思考・判断>課題を多角的に捉え、創造的に考える力

- ・ 自ら積極的に情報収集を行い、問題に対して論理的に思考し、多角的な判断ができる「情報分析・論理的思考・判断力」
- ・ 課題に対し、仮説をたてながら、調査、分析して適切な答えを導くことができる「課題解決力」
- ・ 自ら制約された条件の中でも多くの可能な解答を出す発散的な思考ができる「創造的思考力」

<実践的スキル・表現>多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

- ・ 自ら複数の言語を活用して、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる「コミュニケーション力・語学力」
- ・ 自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、文書や、図解等を用いて論文や報告書にまとめて発表することができる「表現力」
- ・ 自ら対話を通じて他者と協力し、目標実現のために方向性を示し実行できる「傾聴力・チームワーク・リーダーシップ」

##### II. 教育課程の編成及び実施に関する方針

武蔵野大学のカリキュラムは、卒業生の一人ひとりが地球規模のつながりの中で生きる一人の人間として、どんな社会においても、またどんな状況・場面にあっても普遍的に求められるさまざまなスキルをすべての学部学生の基礎力として涵養・育成し、時代や国・地域を超えた貢献を適える人材を未来に向けて輩出することを目的としています。

この目的を実現するために体系化された初年次からの全学共通基礎課程「武蔵野 INITIAL」の学修により、その能力開発および定着を徹底する。また、各学部における専門分野の知識と技能が身につけられるように段階的、体系的なカリキュラム編成を行い、それとの連続性をもって学士課程における目標を達成していきます。

### Ⅲ. 入学者の受入れに関する方針

武蔵野大学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、「アクティブな知」を備え、創造的に思考・表現することのできる人材を育成し、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献していきます。

武蔵野大学の建学の精神、基本目標を理解するとともに、本学の人材育成方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持った者の入学を期待している。入学者の受け入れは、以下に挙げる点に留意して実施する。

- ・ 各学部・研究科の教育目的に相応しい人材を多面的に審査・評価する
- ・ 基礎学力と専門教育に関係する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する
- ・ 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する

学生には、以下の点を期待しています。

- ・ [知識・専門性] 各学科の教育目的に相応しい知識を備えていること
- ・ [関心・態度・人格] 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す意思を持つ者
- ・ [思考・判断] 課題を多角的にとらえ、創造的に考える意思を持つ者
- ・ [実践的スキル・表現] 多様な人々のなかで、自らを考え表現・発信する意思を持つ者

### ② 武蔵野大学中学校・高等学校

#### I. 教育目標

「いかなる生徒を育成するか」

- ・ 「明るい知性と豊かな情操」とをかねそなえた「聡明にして実行力のある人間」の育成。
- ・ 「人の幸せを願う心」、「自己中心。自己絶対視を改める心」、「正しい判断力」、「良き社会人として通用する自立心」の育成。

#### II. 教育方針

「人格形成のための六つの徳目」

- <布施>人の痛みがわかる「優しい心の育成」。
- <禅定>規則、マナーを自発的に守る心の育成。
- <持戒>自制心の確立。
- <忍辱>まじめに生きる姿勢の確立。
- <精進>集中力の育成。
- <知恵>正しい思考、判断力の育成。

### ③ 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

#### I. 教育方針

「Challenge Change Contribute」

##### 1) Challenge

失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢を応援します。挑戦し、フィードバックをたくさんもらうことで、人は成長していきます。正解のない時代だからこそ、小さなチャレンジを続けることが重要だと考えます。

## 2) Change

変化に対して、常に柔軟で、前向きであってほしいと考えます。現在、世の中はものすごいスピードで変化しています。そのような中、しっかりと自分の軸 (Who you are.) を持ちながら、それを中心に柔軟にピボットできる生徒を育てたいと思います。

## 3) Contribute

常に「なんのために？」を考え、目的意識を持った行動ができるように支援します。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献する意識を持ち、自分の人生にオーナーシップを持てるよう、指導しています。

## ④ 武蔵野大学附属幼稚園

### I. 教育目標

- ・ 仏の心を身につけた子どもに
- ・ 自主的な生活のできる子どもに
- ・ 健康なからだで明るい子どもに
- ・ 友だちと仲良くできる子どもに
- ・ 豊かな情操を持った子どもに

## ⑤ 武蔵野大学附属有明こども園

### I. 教育理念

「響き合う保育」

一人ひとりの個性はさまざま。それぞれが“遊び込む”ことを通して素敵な音色を奏で、それが重なり響き合い、世界のしあわせを願うハーモニーとなるように、子どももおとなも共に感じ合い、育ちあう保育を目指します。

#### ➤ 思う存分遊び込み、生きる力を身につける

子どもにとって大切なことは「遊び込む」ことです。自ら遊び込むことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育んでいきます。また、工夫して遊ぶ楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感をもつことが出来ます。保育者や友だちと安心して過ごす中で、思う存分遊び込み、“生きる力”を身につけていきます。

#### ➤ 本物に触れ、豊かな感性を育てる

武蔵野大学教育学部と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験をして、豊かな感性を育んでいきます。子育て支援として未就園児親子対象のイベントや講演会、園庭開放、育児相談など、地域との交流を大切にした、開かれたこども園にしていきます。

#### ➤ 仏の心を大切に

本園は浄土真宗本願寺派のこども園です。自然に触れ、また子ども同士がふれあい、生活する中で、生命の尊さに気づき、万物の恵みに感謝して手を合わせる、心優しい子どもを育てていきます。

## (2) 中期的な計画及び事業計画の進捗達成状況

### ① 事業計画の進捗・達成状況（主な取り組み、成果等の概要）

#### I. 武蔵野大学・大学院

武蔵野大学・大学院では6つのチャレンジを掲げており、各チャレンジの主な取り組みの進捗・達成状況は以下のとおりである。

#### 1) チャレンジ1 自己と世界を問う

- ・ 中期計画として「SDGsの17目標に向けての全学的な取組の推進」「自己の生き方を問いつつHappiness Creatorとして歩む志、能力の確立」を掲げており、令和4年度の事業計画では、「高等教育センターの設置」、「新カリキュラム検証」、「SDGs出版企画」等、ほぼすべての事業において改革が現在進行形で進んでいる。また、響学スパイラルは、学内定着を推進するためのFD研修やシラバスへの組み込み等を継続実施している。
- ・ SDGs年次報告書は検討段階から制作の段階に移行している。目標として設定した「授業理解度の割合」、「授業の主体的取組み」等は目標値を超えた。響学スパイラルの取組が一定以上あるため、これらが寄与していると想定される。
- ・ 今後は、学修者の主体的な学びの姿勢を引き出し知識・能力を涵養する学修の仕組みづくりに寄与することを目的とし、令和5年度からは「響学開発センター」に学外有識者をセンター長として迎え、教育支援・開発を強化していき、学修者本位の教育を進めていく。

#### 2) チャレンジ2 未来の世界を創る creative な実践者輩出

- ・ キャリア教育・就職支援について、主体的に社会に貢献できる人材を輩出するため、在学期間を通じて学生が自らのキャリア形成に自律的に取り組むことを目的としたキャリアセンターを新たに設置した。令和4年度から開講した授業科目「キャリアデザインB」では、2年次での1Day職場体験やインターンシップを組み入れることで低学年からのキャリア形成について体系的・組織的な展開を図っている。また、社会の第一線で働く本学卒業生への取材・Web記事制作を通じて自らのキャリアを考えるプロジェクトを実施し、令和4年度後期だけで約40名が学部・学年を越えて参画した。今年度の活動の効果測定を踏まえて、今後の全学的なキャリア教育及び就職支援に関する活動の拡充を図る。
- ・ 研究推進について、Creative研究計画推進委員会において検討を行い、科研費応募者に対するインセンティブ付与（大学研究費の加算）、退職教員に対する研究支援、科研費におけるメンター制度の導入、研究クラウドファンディング事業の運用体制及び技術移転機関（TLO）との業務提携体制の構築を行い、本学における研究力の向上を図った。

#### 3) チャレンジ3 AI世界を先導する MUSIC

- ・ 第一期中期計画「情報教育・学習環境の整備」について、施設設備関連の「教室環境のスマート化」「教室定員に対する無線LANセッション数及び電源の確保」は計画通りに進捗している。また、「LMSの確立とAIサービスの導入」はMUSIC、SICプロジェクト、学務課のそれぞれで検討を進めており、「学生コモンズ等共有スペースの整備」はチャレンジ3小委員会の中にタスクフォースを結成してSIプロトタイプ教室の整備・授業検証を実施した。

- ・ 第一期中期計画「教育の情報・スマート化」について、「BYOD を活かした響学スパイラル教育の全学推進」「LMS、AI サービス、動画コンテンツ等を活かした教育の実践」は MUSIC が主導となり、全学に展開推進が来ている。
- ・ 第一期中期計画「AI-Ready-University を目指した情報・AI 教育のブランド化」について、「MUSIC 発次世代型情報・AI 教育の全学展開とサブメジャー化」は副専攻（AI 活用エキスパートコース）が2年目となり、履修者数は目標を下回っているものの、キャリア支援や専門領域での展開等を推進できている。

#### 4) チャレンジ4 Global & Universal

- ・ 中期計画として「世界に羽ばたき、世界を迎え入れる学部学科でのグローバル人材育成」「国内授業における外国語科目の強化」「ユニバーサルなキャンパス空間と学生支援」を掲げ、ニーズ調査や環境の整備を進めた。
- ・ 新型コロナウイルスや円安等の影響により目標達成が難しい中でも、春の短期語学研修においては定員 20 名のところに 48 名の応募があるなど、渡航再開に伴い海外プログラム申込みが増加した。留学生数は、新型コロナウイルスに関わる入国規制が緩和され、協定留学生の受入れを再開するなど、留学生数増加につながった。また、新たに留学生アンケートや他大の留学生支援施策調査を行うとともに、留学生と日本人の交流会を実施するなど、質の充実に努めた。
- ・ 第二外国語の履修者は目標近似値となり、3年次まで学べるように学則変更も行った。
- ・ ユニバーサルなキャンパスの実現に向けて、「一人ひとりに寄り添う大学の環境とサポートに関する調査」など学生調査を実施、具体的なハード面やソフト面の課題を確認、ニーズとコストの試算も行い、今後の具体的なキャンパス・施設の整備の検討の基盤となる情報を収集することができた。また、学生支援のワンストップ化や学生間ピアサポートの検討に向けて、学生ニーズ調査などを実施した。
- ・ 教員のユニバーサル化においても、若手・女性・外国人教員へのアンケートを実施した。また、科研費応募者に対するインセンティブ付与及びメンター制度の導入について、学内承認を得た。

#### 5) チャレンジ5 MU-GEN (Musashino University GENERations) につながる Infinite Linking

- ・ 中期計画として「大学の枠を超えてつながる新設プラットフォーム（オンライン+リアル）を活用した各種連携（中高大接続、地域連携、通信教育、大学間・産官学連携、卒業生との連携）」「武蔵野サンガの醸成（卒業生・退職者・在学生・教職員・後援会の連携）」を掲げ、事業計画の「卒業生ニーズを把握し、通信教育部、生涯学習講座等を活用した卒業生支援」「100周年記念事業を契機とした同窓会組織の活性化と、卒業後の継続的な情報接触を通じた関係性の強化」について、一部の指標で実施展開段階に至った。
- ・ プラットフォームの構築ではチャレンジ5独自の卒業生向けインターネットラジオという新たなプラットフォームを次年度より稼働することとなった。
- ・ 千代田高等学院とデータサイエンス基礎に係る高大接続プログラムを実施した。
- ・ 卒業生との繋がりについて、むらさき会のデータベースが稼働し、データベース及びWEBサイトから自己情報の変更更新が可能となった。

## 6) チャレンジ6 共に5つのチャレンジを実現する学生の安定的な確保

- ・ 中期計画として「武蔵野大学のビジョンの社会的認知と共鳴する優秀な人材の確保」「Society 5.0時代のニーズに即応した学部学科の新設再編」「社会的評価指標の向上」「社会に輩出する学生数の減耗の極小化」を掲げ、事業計画の「入学者の充足」「新学部学科の設置や学部学科の再編の検討」「THE 大学ランキングの結果分析と対策の検討」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 大学入試について、実志願者数が前年より増加したものの、入学者数は一部の学科で定員未達となった。
- ・ 学部学科等の再編等について、令和5年4月に工学部サステナビリティ学科が開設された。
- ・ 「THE 大学ランキング」について、総合ランキング120位を目標とし、121-130位となった。分野別ランキングにおいては、教育充実度が前年度から大きく順位を上昇させ91位にランクインした。
- ・ 奨学金制度について、社会環境の変化に対応できる学生支援体制強化のため、学内奨学金に関する規程等を整備した。奨学金ガイドブックを作成し、本法人のホームページへ掲載した。

## II. 武蔵野大学中学校・高等学校

- ・ 中期計画として「真なるグローバル人財育成のためのシステムの構築」「サイエンスを身につけるためのシステムの構築」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「校内行事の整理・削減と一貫性の構築」「外部企業との連携」「オリジナル教材の開発」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 生徒、保護者対応等に伴う教員の業務負担の増加により研修が十分に進んでいない等の課題もあるが、ICT機器等の設備の整備について、昨年度より順調に継続して実施することができた。
- ・ 広報活動について、説明会等で校長講演や各種志願者向けを繰り返し展開してきたことで、安定した志願者数を確保することができた。

## III. 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

- ・ 中期計画として「国内難関大学・海外大学への合格力を高める」「想像力と教養力の育成」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「海外トップ大学への進学ノウハウの蓄積」「国公立・最難関私立への指導力強化」「チームで進路指導を行う体制づくり」「外部企業等との連携」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 入学者数について、広報活動を強化し、入学説明会や集客イベントの実施回数を増やすことで志願者数を増加させることができた。
- ・ 設備の整備においては、千代田国際中学校の再開に伴い、エントランス部分や一部の教室のICT機器を含め、改修をすることができた。また、令和5年度の新入生の募集につながるよう本館の外壁も新しくなるように工事を行った。

#### IV. 武蔵野大学附属幼稚園・慈光保育園

- ・ 中期計画として「目標を具現化した競争力のある教育を企画・実施して、園児を成長させる」「きめ細かい保育を企画・実施して、園児を成長させる」「保護者も満足できる教育の実施」等を掲げ、事業計画の「育児相談の実施」「老朽化した遊具の更新」「保護者が望む課外活動の開始、大学教員による講座の開設、給食の充実」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 令和3年度に開始した課外活動は2年目を迎え、その内容を見直すと共に、英語及びサッカーを追加した。また、絵本や音楽など文化プログラム中心だった未就園児クラス「ここにこルーム」に体操プログラムを取り入れた。
- ・ 幼稚園の定員は充足できなかったものの、広報活動の強化等により入園者数は前年を1名上回った。

#### V. 武蔵野大学附属有明こども園

- ・ 中期計画として「園児と保護者の満足度が高まる教育・保育の質の向上を目指しつつ、円滑で安定した運営を行う」「園児が自発的に遊び込み、生きる力を身につけられるよう、わくわくプログラムを実施する等、教育・保育環境を充実する」「地域に開かれた施設として、地域子育て支援プログラムを通し、こどもの健全育成及び子育て世代の家庭の支援を図る」等を掲げており、令和4年度における主な取り組みは以下のとおりであった。
- ・ 本園の教育的特色である「わくわくプログラム」は、武蔵野大学の大学教員に加え、今年度は専門業者（ICT分野）、地域（水の科学館）、保護者など多くの講師を迎え、全17種、のべ61回の多彩なプログラムを開催することができた。
- ・ 園バスについて、令和4年9月より運行を開始した。
- ・ 子育て支援プログラムとして、新たに運動会予行の観覧と未就園児競技を実施した。
- ・ 園庭について、築山の撤去、芝生の再敷設等の改修を実施するとともに、新たに遊具を設置した。

#### VI. 法人

- ・ 中期計画として「仏教精神の普及」、「ガバナンス構築」、「人事・組織の活性化」、「100周年記念事業の企画推進とブランディング」及び「経営指標に基づく財政の安定化」等を掲げ、令和4年度事業計画に取り組んだ。
- ・ 法人ガバナンス改善・強化の一環として、常務理事、教学執行者及び教職員管理職に委任する業務の執行の範囲を明確化した。また、学校法人武蔵野大学ガバナンス・コードの自己点検を実施し、本法人のホームページにて点検結果を公表した。
- ・ 法人のDX推進体制整備のため、事務局において令和4年10月にDX戦略推進室が設置され、更に令和5年度にDX・システム部が設置されることになった。併せて、令和4年度から導入された事務職員新人事制度は、資格制度と給与制度の運用が開始され、また新評価制度を導入することができた。
- ・ 施設設備では、中長期施設整備計画に基づき、施設設備の改修工事等を実施した。大型施設案件では、武蔵野中高駐輪場付体育施設及び図書館の基本計画策定と基本設計着手並びに千代田中高新館・本館の改修を行った。

- ・ 財務については、財政分岐点指標の健全性に留意しつつ、年度内に決定した大型事業計画を反映し、中長期財政計画を12月と3月の年2回更新した。事業計画に基づき、創立100周年記念募金の開始や、コロナ禍で休止していた恒常募財を3年振りに実施したほか、資金運用方針に基づく金融商品の購入等により、収入の多様化を図った。
- ・ 学校法人武蔵野大学DX推進基本計画を策定した。DX推進委員会の設置やITコンサルティング契約の締結など、DX推進体制を整備すると共に、パイロット事業に取り組んだ。
- ・ 100周年記念事業の「趣意」を明示するとともに、各プロジェクトの具体化を進めた。100周年事業を基軸に長期的な戦略広報を視野に入れた広報コンサルティングを導入し、独自の指標の策定に着手。スマートインテリジェンスキャンパス（SIC）では、トライアルを実施し、本格展開に向けた準備を開始。講演や上演関連イベントでは、講演者や演者も確定し着々と具体化している。

### 3. 財務の概要

#### (1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:百万円)

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	60,210	63,033	67,057	70,422	71,862
流動資産	4,303	10,300	8,573	7,510	8,332
資産の部 合計	64,513	73,333	75,630	77,932	80,194
固定負債	4,208	10,615	13,158	12,646	12,237
流動負債	3,562	4,332	4,541	5,154	4,899
負債の部 合計	7,770	14,947	17,699	17,800	17,136
基本金	63,430	65,701	67,896	69,089	70,611
繰越収支差額	-6,687	-7,316	-9,964	-8,956	-7,553
純資産の部 合計	56,743	58,386	57,932	60,132	63,058
負債及び純資産の部 合計	64,513	73,333	75,630	77,932	80,194

注 本表に記載した数値は、原則として単位未満を四捨五入した。したがって合計と内計が一致しない場合がある。(以下同様)

#### (2) 資金収支計算書の状況と経年比較

##### 【収入の部】

(単位:百万円)

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	12,377	12,651	13,340	14,305	15,559
手数料収入	562	596	577	518	519
寄付金収入	206	181	259	135	190
補助金収入	2,244	2,275	2,881	3,046	3,324
資産売却収入	810	836	3,342	744	750
付随事業・収益事業収入	350	310	205	256	294
受取利息・配当金収入	48	34	26	44	55
雑収入	327	405	417	704	499
借入金等収入	200	6,790	0	1	1
前受金収入	2,384	2,789	2,736	3,252	2,982
その他の収入	7,854	3,305	6,805	6,720	1,625
資金収入調整勘定	-2,639	-2,678	-3,158	-3,150	-3,714
前年度繰越支払資金	4,271	3,393	9,617	7,388	4,547
収入の部 合計	28,996	30,885	37,047	33,963	26,630

##### 【支出の部】

(単位:百万円)

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	7,403	7,880	7,866	8,265	8,802
教育研究経費支出	4,381	4,158	4,634	5,324	5,754
管理経費支出	984	953	872	967	1,069
借入金等利息支出	34	37	64	59	55
借入金等返済支出	391	169	369	369	470
施設関係支出	2,535	2,101	2,690	3,353	439
設備関係支出	273	321	510	746	886
資産運用支出	9,216	5,383	12,243	8,921	4,089
その他の支出	992	1,152	1,631	2,363	1,545
資金支出調整勘定	-606	-885	-1,219	-953	-1,944
翌年度繰越支払資金	3,393	9,617	7,388	4,547	5,465
支出の部 合計	28,996	30,885	37,047	33,963	26,630

(単位:百万円)

(a) 前年度繰越支払資金	4,271	3,393	9,617	7,388	4,547
(b) 翌年度繰越支払資金	3,393	9,617	7,388	4,547	5,465
差異 (b)-(a)	-878	6,224	-2,229	-2,841	918

(3) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動による収支	収入					
	学生生徒等納付金収入	12,377	12,651	13,340	14,305	15,559
	手数料収入	562	596	577	518	519
	特別寄付金収入	121	97	210	103	115
	一般寄付金収入	1	1	1	0	0
	経常費等補助金収入	2,206	2,259	2,867	3,033	3,323
	付随事業収入	324	310	205	256	294
	雑収入	327	405	417	704	499
	教育活動資金収入計	15,917	16,318	17,617	18,918	20,309
	支出					
人件費支出	7,403	7,880	7,866	8,265	8,802	
教育研究経費支出	4,381	4,158	4,634	5,324	5,754	
管理経費支出	984	953	872	967	1,069	
教育活動資金支出計	12,768	12,991	13,372	14,556	15,625	
差引	3,149	3,327	4,245	4,362	4,684	
調整勘定等	36	178	180	-159	-65	
教育活動資金収支差額	3,185	3,505	4,425	4,203	4,619	
施設整備等活動による資金収支	収入					
	施設設備寄付金収入	85	83	48	32	74
	施設設備補助金収入	38	16	13	13	1
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	2,763	638	40	1,035	400
	施設設備整備引当特定資産取崩収入	2,800	1,714	6,308	3,306	0
	施設整備等活動資金収入計	5,687	2,451	6,410	4,386	476
	支出					
	施設関係支出	2,535	2,101	2,690	3,353	439
	設備関係支出	273	321	510	746	886
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	1,600	2,018	1,380	580	810
施設設備整備引当特定資産繰入支出	2,697	2,339	3,788	2,516	1,942	
施設整備等活動資金支出計	7,105	6,779	8,367	7,195	4,077	
差引	-1,418	-4,328	-1,958	-2,808	-3,602	
調整勘定等	-187	-5	-45	-133	212	
施設整備等活動資金収支差額	-1,605	-4,333	-2,003	-2,942	-3,390	
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		1,579	-828	2,422	1,261	1,230
その他の活動による資金収支	収入					
	借入金等収入	200	6,790	0	1	1
	有価証券売却収入	809	836	3,342	744	750
	第3号基本金引当特定資産取崩収入	113	415	1	803	298
	退職給与引当特定資産取崩収入	1,600	200	0	254	0
	修学旅行費等預り資産取崩収入	0	0	0	0	0
	預り金受入収入	107	64	169	77	45
	その他の収入	80	11	21	949	598
	小計	2,908	8,316	3,532	2,828	1,692
	受取利息・配当金収入	48	34	26	44	55
収益事業収入	27	0	0	0	0	
その他の活動資金収入計	2,983	8,350	3,558	2,872	1,746	
支出						
借入金等返済支出	391	169	369	369	470	
有価証券購入支出	3,505	0	0	4,741	1,198	
第3号基本金引当特定資産繰入支出	245	683	245	740	51	
退職給与引当特定資産繰入支出	1,051	222	47	339	27	
預り金支払支出	70	5	6	53	123	
その他の支出	166	181	7,399	672	134	
小計	5,428	1,259	8,067	6,915	2,003	
借入金等利息支出	34	37	64	59	55	
その他の活動資金支出計	5,462	1,297	8,131	6,975	2,058	
差引	-2,479	7,053	-4,573	-4,102	-312	
調整勘定等	21	-1	-79	0	0	
その他の活動資金収支差額	-2,458	7,053	-4,651	-4,102	-312	
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		-877	6,224	-2,229	-2,841	918
前年度繰越支払資金		4,271	3,393	9,617	7,388	4,547
翌年度繰越支払資金		3,393	9,617	7,388	4,547	5,465

(4) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収入	学納金	12,377	12,651	13,340	14,305	15,559
	手数料	562	596	577	518	519
	寄付金	129	99	211	103	116
	経常費等補助金	2,206	2,259	2,867	3,033	3,323
	付随事業収入	324	310	205	256	294
	雑収入	333	406	419	391	501
	教育活動収入計 ①	15,929	16,320	17,619	18,605	20,311
教育活動支出	人件費	7,490	7,902	7,913	8,350	8,829
	教育研究経費	5,903	5,683	6,315	7,238	7,563
	管理経費	1,170	1,109	1,045	1,171	1,203
	徴収不能額等	22	27	28	18	21
教育活動支出計 ②	14,585	14,721	15,301	16,778	17,616	
教育活動収支差額 ③=①-②	1,345	1,599	2,319	1,827	2,696	
教育活動外収入	受取利息・配当金	48	34	26	44	55
	その他の教育活動外収入	27	0	0	0	0
	教育活動外収入計 ④	75	34	26	44	55
	借入金等利息	34	37	64	59	55
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計 ⑤	34	37	64	59	55	
教育活動外収支差額 ⑥=④-⑤	41	-3	-38	-15	-1	
経常収支差額 ⑦=③+⑥	1,385	1,596	2,281	1,811	2,695	
特別収入	資産売却差額	39	0	241	36	0
	その他の特別収入	152	116	74	397	254
	特別収入計 ⑧	191	116	316	433	255
	資産処分差額	67	35	128	44	23
	その他の特別支出	123	35	2,923	0	0
特別支出計 ⑨	189	70	3,051	44	23	
特別収支差額 ⑩=⑧-⑨	2	46	-2,735	389	232	
基本金組入前当年度収支差額 ⑫=⑦+⑩	1,387	1,643	-454	2,201	2,926	
基本金組入額合計 ⑬	-1,730	-2,278	-2,198	-1,315	-1,840	
当年度収支差額 ⑮=⑫+⑬	-343	-636	-2,652	885	1,086	
前年度繰越収支差額 ⑯	-6,356	-6,687	-7,316	-9,964	-8,956	
基本金取崩額 ⑰	13	7	3	123	318	
翌年度繰越収支差額 ⑱=⑮+⑯+⑰	-6,687	-7,316	-9,964	-8,956	-7,553	
事業活動収入	16,196	16,471	17,961	19,081	20,620	
事業活動支出	14,809	14,828	18,415	16,881	17,694	

## (5) 財務比率の経年比較

- 資産運用収入には有価証券売却差額、有価証券処分差額を含み、補助金は経常費等補助金と施設設備補助金の合計額としている。

(各比率の見方)

- I. 事業活動収支差額比率は、経営上、財政的に余裕があるかないかを診断する重要な指標である。  
 II. 学納金比率、III. 補助金比率、IV. 資産運用収入等比率は、収入構造（体質）を見るための指標である。  
 V. 人件費比率 ～ IX. 基本金組入率の支出比率は、事業活動収入（又は学納金）が適切な割合で使用されているかを見る指標である。

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
I 事業活動収支差額比率 (事業活動収入－事業活動支出) / 事業活動収入	-2.5%	11.5%	14.2%
II 学納金比率 (学納金 / 事業活動収入)	74.3%	75.0%	75.5%
III 補助金比率 (補助金 / 事業活動収入)	16.0%	16.0%	16.1%
IV 資産運用収入等比率 (資産運用収入 / 事業活動収入)	0.9%	0.3%	0.3%
V 人件費比率 (人件費 / 事業活動収入)	44.1%	43.8%	42.8%
VI 人件費依存率 (人件費 / 学納金収入)	59.3%	58.4%	56.7%
VII 教育研究経費比率 (教育研究経費 / 事業活動収入)	35.2%	37.9%	36.7%
VIII 管理経費比率 (管理経費 / 事業活動収入)	5.8%	6.1%	5.8%
IX 基本金組入率 (基本金組入額 / 事業活動収入)	12.2%	6.9%	8.9%

## (6) 有価証券の状況

### ① 総括表

(単位：円)

種類	当年度（令和5年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	349,878,000 (99,878,000)	349,983,000 (99,933,000)	105,000 (55,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	4,906,914,024 (3,886,422,024)	4,649,094,752 (3,674,325,552)	-257,819,272 (-212,096,472)
合計 (うち満期保有目的の債券)	5,256,792,024 (3,986,300,024)	4,999,077,752 (3,774,258,552)	-257,714,272 (-212,041,472)
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	5,274,447,024		

### ② 明細表

(単位：円)

種類	当年度（令和5年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	3,338,614,000	3,223,478,200	-115,135,800
株式	—	—	—
投資信託	1,600,000,000	1,463,950,561	-136,049,439
貸付信託	—	—	—
その他	318,178,024	311,648,991	-6,529,033
合計	5,256,792,024	4,999,077,752	-257,714,272
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	5,274,447,024		

## (7) 借入金の状況

[主な借入金残高] ※1,000千円以上

(単位：百万円)

借入先	借入目的	借入金額	令和4年度末 借入残高
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (H22)	2,800	1,089
龍谷学事振興金庫	千代田高中施設設備 (H30)	200	146
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (R1)	2,789	2,689
市中金融機関	有明校舎建築 (R1)	4,000	3,400
合計		9,789	7,324

## (8) 寄付金(募財)の状況

### ① 大学

#### I. 武蔵野大学 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億5千万円
期 間	: 5年間(5年目) 令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 1.5百万円 37 件
累 計	額	: 144.9百万円 2,750 件 達成率 96.6 %

#### II. 武蔵野大学薬学部 教育研究施設・設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間(5年目) 令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0.6百万円 12 件
累 計	額	: 49.7百万円 394 件 達成率 49.7 %

#### III. 武蔵野大学 教育充実資金募財、奨学基金募財

目 標	額	: 3億円(各事業1.5億円)
期 間	: 10年間(5年目) 令和9年3月まで	
対 象 者	: 法人	
寄 付 金	額	: 34.3百万円 3 件
累 計	額	: 324.0百万円 43 件 達成率 108.0 %

### ② 武蔵野中高

#### IV. 武蔵野大学高等学校・中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間(5年目) 令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0.9百万円 22 件
累 計	額	: 85.7百万円 1,191 件 達成率 85.7 %

### ③ 千代田中高

#### V. 武蔵野大学附属千代田高等学院・千代田国際中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間(5年目) 令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0.1百万円 5 件
累 計	額	: 5.9百万円 71 件 達成率 5.9 %

### ④ 幼稚園

#### VI. 武蔵野大学附属幼稚園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1千万円
期 間	: 5年間(5年目) 令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 幼稚園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0百万円 3 件
累 計	額	: 6.7百万円 287 件 達成率 67.5 %

### ⑤ 有明こども園

#### VII. 武蔵野大学附属有明こども園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 5百万円
期 間	: 5年間(3年目) 令和7年3月まで	
対 象 者	: (1) こども園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0.1百万円 2 件
累 計	額	: 0.1百万円 2 件 達成率 1.0 %

### ⑥ 慈光保育園

#### VIII. 武蔵野大学附属慈光保育園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1百万円
期 間	: 5年間(3年目) 令和7年3月まで	
対 象 者	: (1) 保育園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 0百万円 1 件
累 計	額	: 0百万円 1 件 達成率 2.0 %

### ⑦ 創立100周年記念募金

#### IX. 武蔵野キャンパス図書館、千代田キャンパス施設の建替、創立100周年記念基金、創立100周年記念事業プロジェクト

目 標	額	: 20億円
期 間	: 8年間(1年目) 令和12年3月まで	
対 象 者	: (1) 本学学生、生徒、園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金	額	: 40.9百万円 1,050 件
累 計	額	: 40.9百万円 1,050 件 達成率 2.0 %

## (9) 補助金の状況

(単位:千円)

補助金の種類	補助金額
私立大学等経常費補助金	1,483,183
一般補助	1,289,017
特別補助	194,166
成長力強化に貢献する質の高い教育	1,600
社会人の組織的な受入れ	6,300
大学等の国際交流の基盤整備	33,571
大学院等の機能の高度化	130,695
私立大学改革総合支援事業	22,000
修学支援授業料等減免費交付金	396,394
国庫からのその他の補助金	6,507
地方公共団体等からの補助金	1,438,123
私立学校経常費補助金	896,392
私立学校等授業料軽減補助金	160,431
その他の補助金	381,300
合 計	3,324,207

(10) 関連当事者等との取引

関連当事者 該当なし

(11) 出資会社の状況

会社等の名称 : 株式会社エムユービジネスサポート

事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容
建物の清掃・警備・保守管理業務、事務受託業務、学生生活支援事業、損保代理店業務等	10,000千円	100%	清掃・警備・保守管理業務、事務受託業務、学生生活支援事業、損保代理店業務等の委託等